

名古屋市中心部を宅配エリアとしたセンター新設 宅配事業 中川センター開所式のお知らせ

5 月 14 日(水) 10:30~12:00

生活協同組合コープあいちは、愛知県全域で宅配事業を展開し、毎週およそ 16 万人の組合員のお宅に商品をお届けしています。

この度、名古屋市中心部をエリアとした宅配事業の「中川センター」を新設し、開所式を開催いたします。つきましては報道機関のみなさまに、ご取材、ご紹介いただきたく、お知らせいたします。

中川センターは、名古屋市3つの行政区(中村区・中川区・中区)にお住いの組合員(約 8,500 人)のお宅へ配達を行うセンターです。

建物は環境に配慮し、屋根には太陽光パネルを設置しました。また、地球温暖化係数が低い冷凍・冷蔵設備を採用し、エネルギー使用量と CO2 排出量を削減します。

災害時には、災害支援の拠点となるように防災倉庫を設置し、発電機などの設備や、防災備品、非常食なども配備しています。また、津波ハザードマップでは、3~5m未満の浸水が想定されているため、2階から屋根の上へ避難できるようハシゴを設置しています。

● コープあいち 中川センター開所式 ●

日時 : 2025 年 5 月 14 日(水) 10:30~12:00

場所 : コープあいち 中川センター (名古屋中川区野田 2 丁目 424 番)

式次第 一部 開所式 10:30~11:10

主催者挨拶・来賓紹介・来賓祝辞・新センター概要説明・
テープカット・記念撮影

二部 レセプション 11:20~12:00

乾杯・スピーチ・懇談・職員決意表明・組合員代表あいさつ

中川センターは、5 月 14 日(水)開所式を経て、
5 月 19 日(月)より稼働開始します。

EV 車(営業車)を配置⇒



■ お問い合わせ先

(TEL)052-703-1257

広報広聴デジタル推進部:相澤

生活協同組合コープあいち

理事長:森 政広(もり まさひろ) 組合員数57万人 総事業高653億円(2024年度)

〒465-8611 名古屋市名東区猪高町大字上社字井堀 25-1

TEL 052-703-6022 FAX 052-703-3387

[https:// coopaichi.tcoop.or.jp](https://coopaichi.tcoop.or.jp)

次ページに資料を添付しております。あわせてご覧ください。

コープあいち 中川センターについて

1. 施設概要

施設名称:生活協同組合コープあいち 中川センター

所在地:名古屋市中川区野田2丁目424

敷地面積:2,998.03㎡ (907 坪) 延床面積:1,491.91㎡ (451 坪)

接車台数:25台 駐車台数:70台

要冷設備:冷凍庫(2か所合計) 63.91㎡ (19 坪) 冷蔵庫(2か所合計) 78.69㎡ (24 坪)

事務所:199.24㎡ (60 坪) 会議室:90.48㎡ (27 坪)

2. 施設計画

【働きやすい施設】

- 段差をなくし、倉庫内及び事務所内での作業動線を短くして働く職員の負担を軽減。
- バアフリー化と障がい者に配慮した施設とジェンダートイレの設置

【環境にやさしい施設】

- LED 照明を設置。冷凍・冷蔵設備には地球温暖化係数が低いフロン R448A を採用し、エネルギー使用量と CO2 排出量を削減。
- 屋根には太陽光発電パネル(発電出力 50kw)を設置。屋根に太陽光発電パネルを置かない場所は、屋上緑化を設置し、夏場の事務所内の温度上昇を抑制し空調効率を高めることで電気使用量削減へ。
- EV 車(営業車)を配置。

【災害支援の拠点】

- 災害発災時の災害支援の拠点となるよう、発電機設備や防災設備・非常食などを配備。
- 震度6強の地震でも倒壊・崩壊しないよう、基礎杭を地中34mの支持地盤まで打ちこみました。また、地震発災時の液状化対策を実施しました。
- 津波をそうていして2階から屋根の上へ避難できるように屋根上に移動できるハシゴを設置しました。
- 停電時には太陽光パネルからの電力供給を可能としています。

3. 配達エリア

名古屋市中村区・中川区・中区 約8,500世帯へ配達



《コープあいち中川センター》